

県北域内研修

～第2回スキルアップ教室～

9月28日(金) in ほばらっ子クラブ

『第2回スキルアップ教室』を伊達市「ほばらっ子クラブ」(保原中央公民館)で実施しました。今回のスキルアップ教室は、子ども教室でちょっと「気になる子」に注目し、理解を深め適切なかかわり方を学びました。

講話 『気になるお子さんへのかかわり方』

県北教育事務所指導主事 柳沼 哲



- ・子どもたちの見方を変えることが大切である。
- ・子どもの自己肯定感を高めるために、自信や意欲が持てることをいかに見つけてあげることが大切である。
- ・ほめる場面はこちらからつくってあげなければならない。
- ・小学生の時期に大切なこと、「信頼関係を築く」「認めてあげる」「仲間作り」

- ・間接的にほめる…「〇〇先生がすごくほめてたよ。」…効果がある。

事例発表「ほばらっ子クラブの実際」

ほばらっ子クラブ コーディネーター 菅野明美さん



- ・障がいを持つ子どもたちのことを分かって欲しいと願い、その受け皿としてほばらっ子クラブの立ち上げに関わった。
- ・障がいを人間の個性として受け入れてほしい。
- ・子どもたちが望んでいることに、寄り添う形で支援していきたい。
- ・子どもたちをみんなの力で育てていきたい。子育てを応援するのは、いろんな大人あるいは子どもたちではないか。

- ・子どもたちを通して学んだことは、「思いやり」と「笑顔」。子どもたちはとても感じやすい。これからも一人の人間として向き合っていきたい。

【参加者から】

- ・とても参考になった。あらためてほめてやることの大切さを勉強した。
- ・一人の人間として見てあげる大切さを教えていただいた。
- ・細かい指導のテクニックが聞けて大変勉強になった。

講話を通じて、気になる子どもたちへの適切なかかわり方を学ぶことができました。また、菅野さんの言葉の一つ一つに重みを感じ、特別な支援の必要な子どもへの熱い思いが伝わってきました。開催にあたって伊達市教育委員会をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。